

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポーシジョンの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2020.8.31-9.6**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポーシジョンの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

16:17 兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人々を警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。

16:18 そういう人々は、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人々の心をだましています。

16:19 あなたがたの従順はすべての人に知られているので、私はあなたがたのことを喜んでいますが、しかし、私は、あなたがたが善にはさどく、悪にはうとくあってほしい、と望んでいます。

16:20 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたにもありますように。

16:21 私の同労者テモテが、あなたがたによろしくと言っています。また私の同国人ルキオとヤソンとソシパテロがよろしくと言っています。

16:22 この手紙を筆記した私、テルテオも、主にあってあなたがたにごあいさつ申し上げます。

16:23 私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと言っています。

16:24 [本節欠如]

16:25 私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の

命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、

16:26 [前節に合節]

16:27 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

教会には神様の力になる人もいれば、まれに妨げとなる人が現れることがあるのも現実です。それは罪が大きいとか、人格的に未熟だとかいうものではありません。そのような人はみことばと聖霊による交わりで、成長してゆくのが教会であり、主のみこころです。

教会が警戒すべきなのは、その人によって永遠の命が妨害されるときです。求道者のつまずきになるとか、教会に分裂をもたらすというのがそうです。また神様の「教えにそむいて」、福音を歪めてしまう場合も警戒しなくてはなりません。

もちろんその人をも愛すべきですが、つまずきによって永遠の命の危機があるなら、そのような被害を受けた人々や受けそうな人々をも愛さなくてはなりません。

分裂やつまずきなど、救いの妨げをする人は、その人のためにもそれ以上の悪をしないようにさせる必要があります。「警戒」が必要です。もちろん、自分自身もそうならないように、謙遜になって省みることも必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 1日 火曜

### エレミヤ



26:1 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの治世の初めに、主から次のようなことばがあった。

26:2 「主はこう仰せられる。主の宮の庭に立ち、主の宮に礼拝しに来るユダのすべての町の者に、わたしがあなたに語れと命じたことばを残らず語れ。一言も省くな。

26:3 彼らがそれを聞いて、それぞれ悪の道から立ち返るかもしれない。そうすれば、わたしは、彼らの悪い行ないのために彼らに下そうと考えていたわざわいを思い直そう。

26:4 だから彼らに言え。『主はこう仰せられる。もし、あなたがたがわたしに聞き従わず、あなたがたの前に置いたわたしの律法に歩まず、

26:5 わたしがあなたがたに早くからたびたび送っているわたしのしもべである預言者たちのことばに聞き従わないなら、・・・あなたがたは聞かなかった。・・・

26:6 わたしはこの宮をシロのようにし、この町を地の万国ののろいとする。』」

26:7 祭司と預言者とすべての民は、エレミヤがこのことばを主の宮で語っているのを聞いた。

26:8 主がすべての民に語れと命じたことをみな、エレミヤが語り終えたとき、祭司と預言者とすべての民は彼を捕えて言った。「あなたは必ず死ななければならない。

26:9 なぜ、主の御名により、この宮がシロのようになり、この町もだれも住む者のいない廃墟となると言って預言したのか。」こうしてすべての民がエレミヤを攻撃しに、主の宮に集まった。

26:10 ユダの首長たちはこれらのことを聞いて、王宮から主の宮に上り、主の宮の新しい門の入口にすわった。

26:11 祭司や預言者たちは、首長たちやすべての民に次のように言った。「この者は死刑に当たる。彼がこの町に対して、あなたがたが自分の耳で聞いたとおりの預言をしたからだ。」

26:12 エレミヤは、すべての首長とすべての民に告げてこう言った。「主が、あなたがたの聞いたすべてのことばを、この宮とこの町に対して預言するよう、私を遣わされたのです。

26:13 さあ、今、あなたがたの行ないとわざわいを改め、あなたがたの神、主の御声に聞き従いなさい。そうすれば、主も、あなたがたに語ったわざわいを思い直されるでしょう。

26:14 このとおり、私はあなたがたの手にあります。私をあなたがたがよいと思うよう、正しいと思うようにしなさい。

26:15 ただ、もしあなたがたが私を殺すなら、あなたがた自身が罪のない者の血の報いを、自分たちと、この町と、その住民とに及ぼすのだということを、はっきり知っていてください。なぜなら、ほんとうに主が、私をあなたがたのもとに送り、あなたがたの耳にこれらすべてのことばを語らせたのですから。」

エレミヤは大胆に主のことばを語りました。それは彼にとっては、危険があったとしても当然のことだったのです。彼は主が永遠の主権を持った方だと知っていたのです。人を恐れずに、主を正しく恐れる人の信仰がここにあります。

その預言を聞いた祭司や預言者たちは、彼を非

難しました。主からの警告を聞いた人の反応としては最悪のものです。私たちは主からの戒めを聞いたなら、それに謙遜に従わなくてはなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 2日 水曜

### エレミヤ

26:16 すると、首長たちとすべての民は、祭司や預言者たちに言った。「この人は死刑に当たらない。私たちの神、主の名によって、彼は私たちに語ったのだから。」

26:17 それで、その地の長老たちの幾人かが立って、民の全集団に語って言った。

26:18 「かつてモレシエテ人ミカも、ユダの王ヒゼキヤの時代に預言して、ユダのすべての民に語って言ったことがある。『万軍の主はこう仰せられる。シオンは畑のように耕され、エルサレムは廃墟となり、この宮の山は森の丘となる。』

26:19 そのとき、ユダの王ヒゼキヤとユダのすべての人は彼を殺しただろうか。ヒゼキヤが主を恐れ、主に願ったので、主も彼らに語ったわざわざいを思い直されたではないか。ところが、私たちは我が身に大きなわざわざいを招こうとしている。」

26:20 ほかに主の名によって預言している人がいた。すなわち、キルヤテ・エアリムの出のシェマヤの子ウリヤで、彼はこの町とこの国に対して、エレミヤのことばと全く同じような預言をしていた。

26:21 エホヤキム王と、そのすべての勇士や、首長たちは、彼のことばを聞いた。王は彼を殺そうとしたが、ウリヤはこれを聞いて恐れ、エジプトへ逃げて行った。

26:22 そこでエホヤキム王は人々をエジプトにやった。すなわち、アクボルの子エルナタンに人々を同行させて、エジプトに送った。

26:23 彼らはウリヤをエジプトから連れ出し、エホヤキム王のところに連れて来たので、王は彼を剣で打ち殺し、そのしかばねを共同墓

地に捨てさせた。

26:24 しかし、シャファンの子アヒカムはエレミヤをかばい、エレミヤが民の手に渡されて殺されないようにした。

この当時のユダでは、神のことばを語るのは命がけでした。エレミヤと同じ預言をしたウリヤは、王に捕らえられて殺されました。エレミヤも後に殺されたとの伝承があります。同じ働きをしても、生かされるかどうか、いつまで生きるかは主の御手の中にあるのです。自分は損をしていると思うこともあるかもしれませんが、主におまかせしましょう。

ここではエレミヤは「首長たちとすべての民」「シャファンの子アヒカム」によって守られました。私たちの命も、立場も、財産も、評価も、実績も、主が必要とあれば守ってくださいから、主にお任せしましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 3日 木曜

### エレミヤ

27:1 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの治世の初めに、主からエレミヤに次のようなことばがあった。

27:2 主は私にこう仰せられる。「あなたはなわとかせとを作り、それをあなたの首につけよ。

27:3 そうして、エルサレムのユダの王ゼデキヤのところに来る使者たちによって、エドムの王、モアブの王、アモン人の王、ツロの王、シドンの王に伝言を送り、

27:4 彼らがそれぞれの主君に次のことを言うように命じよ。『イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。あなたがたは主君にこう言え。

27:5 わたしは、大いなる力と、伸ばした腕とをもって、地と、地の面にいる人間と獣とを造った。それで、わたしの見る目になつた者に、この地を与えるのだ。

27:6 今、わたしは、これらすべての国をわたしのしもべ、バビロンの王ネブカデネザルの手に与え、野の獣も彼に与えて仕えさせる。

27:7 ・・彼の国に時が来るまで、すべての国は、彼と、その子と、その子の子に仕えよう。しかし時が来ると、多くの民や大王たちが彼を自分たちの奴隷とする。・・

27:8 バビロンの王ネブカデネザルに仕えず、またバビロンの王のくびきに首を差し出さない民や王国があれば、わたしはその民を剣と、きぎんと、疫病で罰し、・・主の御告げ。・・彼らを彼の手で皆殺しにする。

27:9 だから、あなたがたは、バビロンの王に仕えることはない、と言っているあなたがたの預言者、占い師、夢見る者、卜者、呪術者

に聞くな。

27:10 彼らは、あなたがたに偽りを預言しているからだ。それで、あなたがたは、あなたがたの土地から遠くに移され、わたしはあなたがたを追い散らして、あなたがたが滅びるようにする。

27:11 しかし、バビロンの王のくびきに首を差し出して彼に仕える民を、わたしはその土地にいこわせる。・・主の御告げ。・・こうして、その土地を耕し、その中に住む。』」

異邦人の王であるネブカデネザルに服従するようにと命じるのは、意外であり神の命令ではないように感じます。ここに神様の歴史性があります。神様が導かれる歴史は、あくまでもこの世であり、神を信じない人々の集合体です。しかし、その異教の民をも用いて、主は歴史を動かさなされるのです。

ですから、異教の王にも従うようにとの命令があるのです。これは善悪の問題ではなく、「時が来ると、多くの民や大王たちが彼を自分たちの奴隷とする。・・」という、その時までのことです。

主の御手が不信者の権力者をも導いていることを覚えましょう。職場や、学校などの人間関係の中でも、主がどのように働いておられるかを、教えていただき、主が教えてくださる知恵を生かしましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



## 4日 金曜

### エレミヤ

27:12 ユダの王ゼデキヤにも、私はこのことばのとおりに語って言った。「あなたがたはバビロンの王のくびきに首を差し出し、彼とその民に仕えて生きよ。

27:13 どうして、あなたとあなたの民は、バビロンの王に仕えない国について主が語られたように、剣とききんと疫病で死んでよかるうか。

27:14 『バビロンの王に仕えることはい。』とあなたがたに語る預言者たちのことばに聞くな。彼らはあなたがたに偽りを預言しているからだ。」

27:15 「わたしは彼らを遣わさなかったのに、主の御告げ。彼らは、わたしの名によって偽りを預言している。それでわたしはあなたがたを追い散らし、あなたがたも、あなたがたに預言している預言者たちも滅びるようにする。」

27:16 私はまた、祭司たちとこのすべての民に語って言った。「主はこう仰せられた。『見よ。主の宮の器は、今すみやかにバビロンから持ち帰られる。』』と言って、あなたがたに預言しているあなたがたの預言者のことばに聞いてはならない。彼らはあなたがたに、偽りを預言しているからだ。」

27:17 彼らに聞くな。バビロンの王に仕えて生きよ。どうして、この町が廃墟となってよかるうか。

27:18 もし彼らが預言者であり、もし彼らに主のことばがあるのなら、彼らは、主の宮や、ユダの王の家や、エルサレムに残されている器がバビロンに持って行かれないよう、万軍の主にとりなしの祈りをするはずだ。



27:19 まことに万軍の主は、宮の柱や、海や、車輪つきの台や、そのほかのこの町に残されている器について、こう仰せられる。

27:20 ・・これらの物は、バビロンの王ネブカデネザルがエホヤキムの子、ユダの王エコヌヤ、およびユダとエルサレムのすべてのおもだった人々をエルサレムからバビロンへ引いて行ったときに、携えて行かなかったものである。・・

27:21 まことに、イスラエルの神、万軍の主は、主の宮とユダの王の家とエルサレムとに残された器について、こう仰せられる。

27:22 『それらはバビロンに運ばれて、わたしがそれを顧みる日まで、そこにあら。主の御告げ。・・そうして、わたしは、それらを携え上り、この所に帰らせる。』』

「バビロンの王に仕えない」というのは、信仰深い態度のように思えるかもしれませんが、それを勧める預言者たちは、主のみ頼ってのことではなく、エジプトに頼っていれば希望があるとの判断なのです。

このように自分の考えに頼るときに、まるで信仰から出ているかのような理由付けをすることがあるので、私たちも注意しなくてはなりません。「主の宮の器」も同じです。主に聞くのではなく、バビロン王の仕えないため後付の理由にしか過ぎません。むしろ主は「…わたしは、それらを携え上り、この所に帰らせる。」と言っておられます。

自分の主張を、信仰を装って理由付けしないように注意しましょう。また、そのような主張に惑わされないように気を付けましょう。そのために常日ごろから、主の御心を聞いて従い、聞き分けられるようにしておきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 土曜

### エレミヤ

28:1 その同じ年、すなわち、ユダの王ゼデキヤの治世の初め、第四年の第五の月に、ギブオンへの出の預言者、アズルの子ハナヌヤが、主の宮で、祭司たちとすべての民の前で、私に語って言った。

28:2 「イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。わたしは、バビロンの王のくびきを打ち砕く。

28:3 二年のうちに、わたしは、バビロンの王ネブカデネザルがこの所から取って、バビロンに運んだ主の宮のすべての器をこの所に帰らせる。

28:4 バビロンに行ったエホヤキムの子、ユダの王エコヌヤと、ユダのすべての捕囚の民も、わたしはこの所に帰らせる。・・主の御告げ。・・わたしがバビロンの王のくびきを打ち砕くからだ。」

28:5 そこで預言者エレミヤは、主の宮に立っている祭司たちや、すべての民の前で、預言者ハナヌヤに言った。

28:6 預言者エレミヤは言った。「アーメン。そのとおりに主がしてください。あなたが預言したことばを主が成就させ、主の宮の器と、すべての捕囚の民がバビロンからこの所に帰って来るように。

28:7 しかし、私があなたの耳と、すべての民の耳に語っているこのことばを聞きなさい。

28:8 昔から、私と、あなたの先に出た預言者たちは、多くの国と大きな王国について、戦いとわざわいと疫病とを預言した。

28:9 平安を預言する預言者については、その預言者のことばが成就して初めて、ほんとうに主が遣わされた預言者だ、と知られるの

だ。」

28:10 しかし預言者ハナヌヤは、預言者エレミヤの首から例のかせを取り、それを砕いた。

28:11 そしてハナヌヤは、すべての民の前でこう言った。「主はこう仰せられる。『このとおり、わたしは二年のうちに、バビロンの王ネブカデネザルのくびきを、すべての国の首から砕く。』」そこで、預言者エレミヤは立ち去った。

28:12 預言者ハナヌヤが預言者エレミヤの首からかせを取ってこれを砕いて後、エレミヤに次のような主のことばがあった。

28:13 「行って、ハナヌヤに次のように言え。『主はこう仰せられる。あなたは木のかせを砕いたが、その代わりに、鉄のかせを作ることになる。

28:14 まことに、イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。わたしは鉄のくびきをこれらすべての国の首にはめて、バビロンの王ネブカデネザルに仕えさせる。それで彼らは彼に仕える。野の獣まで、わたしは彼に与えた。』」

28:15 そこで預言者エレミヤは、預言者ハナヌヤに言った。「ハナヌヤ、聞きなさい。主はあなたを遣わされなかった。あなたはこの民を偽りに抛り頼ませた。

28:16 それゆえ、主はこう仰せられる。『見よ。わたしはあなたを地の面から追い出す。ことし、あなたは死ぬ。主への反逆をそそのかしたからだ。』」

28:17 預言者ハナヌヤはその年の第七の月に死んだ。



安を宣言しました。一方、エレミヤは民の悔改めをもたらすために、苦難を預言しました。安っぽい気休めを語らないようにしましょう。そのようなことばや考えに飛びつかないようにしましょう。主の御心を行うことを是としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

偽預言者ハナヌヤは民の歓心を買うために、平



29:1 預言者エレミヤは、ネブカデネザルがエルサレムからバビロンへ引いて行った捕囚の民、長老たちで生き残っている者たち、祭司たち、預言者たち、およびすべての民に、エルサレムから手紙を送ったが、そのことは次のとおりである。

29:2 ……これは、エコヌヤ王と王母と宦官たち、ユダとエルサレムの貴族たち、職人と鍛冶屋たちが、エルサレムを出て後、

29:3 ユダの王ゼデキヤがバビロンの王ネブカデネザルのもとに、バビロンへ遣わした、シャファンの子エルアサとヒルクヤの子ゲマルヤの手に託したもので、次のように言っている。…

29:4 イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「エルサレムからバビロンへわたしが引いて行かせたすべての捕囚の民に。

29:5 家を建てて住みつき、畑を作って、その実を食べよ。

29:6 妻をめとって、息子、娘を生み、あなたがたの息子には妻をめとり、娘には夫を与えて、息子、娘を産ませ、そこでふえよ。滅ってはならない。

29:7 わたしがあなたがたを引いて行ったその町の繁栄を求め、そのために主に祈れ。その繁栄は、あなたがたの繁栄になるのだから。」

29:8 まことに、イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。「あなたがたのうちにいる預言者たちや、占い師たちにごまかされるな。あなたがたが夢を見させている、あなたがたの夢見る者の言うことを聞くな。

29:9 なぜなら、彼らはわたしの名を使って偽

りをあなたがたに預言しているのがあって、わたしが彼らを遣わしたのではないからだ。…主の御告げ。…」

29:10 まことに、主はこう仰せられる。「バビロンに七十年の満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにわたしの幸いな約束を果たして、あなたがたをこの所に帰らせる。

29:11 わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。…主の御告げ。…それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

29:12 あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。

29:13 もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう。

29:14 わたしはあなたがたに見つけられる。…主の御告げ。…わたしは、あなたがたの捕われ人を帰らせ、わたしがあなたがたを追い散らした先のすべての国々と、すべての場所から、あなたがたを集める。…主の御告げ。…わたしはあなたがたを引いて行った先から、あなたがたをもとの所へ帰らせる。」

バビロンへ引かれて行ったのは主のさばきです。しかしそのさばきの地にも主の祝福はあるということです。ですから主は「あなた方を引いて行った町の繁栄」をも求めるようにと言われるます。

そのように主の愛の懲らしめの後に、「平安を与える計画」を約束してください。私たちも同じように、主の試練があるかもしれませんが。その場合は、非現実的な「夢」ではなく、主のご計

画を見てゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

この世にあって何を実践しますか？

